石高同窓会だより

発行所
栃木県立石橋高等学校
同　窓　会
〒329-0511
（下野市石橋８４５）
TEL　0285（53）2517
印刷所　㈱松井ピ・テ・オ・印刷

創立百周年を目指して

石高同窓会会長　上野　法忍

　今回、伊澤勝彦前同窓会会長よりバトンタッチを受け、会長を務めることになりました上野法忍です。もとより浅学非才ではありますが、役員を始め多くの会員の皆様、校長先生をはじめ先生方と協力しながら、その責務を果たしていきたいと思います。

　昨年は、創立九十周年の節目の年にあたり、多くの同窓生の御協力により記念事業並びに記念式典が盛大に行われましたこと、心から感謝申し上げます。

　その記念事業として、新校訓となった旧制石橋中学校の校訓、ニーチェの箴言「爾の立てるところを深く掘れ」の記念碑が建立されました。これから新校訓が生徒達の心の拠り所となり、昔からの石高魂が今後もしっかりと受け継がれていくことを願います。

　「人は、環境によって育つ」という言葉があります。環境を良くすることが良い人を育てます。

　また、兼好法師の「徒然草」の一五七段には、

　筆を取ったら字が書きたくなり、楽器をとったら音をたててみようと思う。盃をとれば酒のことを思い出し、さいを持ったら転がしてみたくなる。人間の心は必ず事に触れておこるものであるから、かりそめにも善くない戯れをしてはいけない。（中略）

　それで信心の心がおこらなくても数珠をとり、お経をとったら、怠りのうちにも善業がおのずから修せられるものである。散乱の心ながらでも座禅の床に座ったら、知らず知らずのうちに心が安定してくるものである。

と書かれています。環境を良くし、正しい心を持って生活をしていくことが大切です。石高生が学力はもちろん、心身共に健全な生徒として活躍することを願っております。同窓会も創立九十年の実績を踏まえ、母校の発展のため、百周年を目指して活動していきますので、今後とも同窓会への御理解と御協力をお願い申し上げます。

京浜支部総会に参加して

同窓会副会長　大手　正憲

同窓会の最大行事と言っていい、石橋高校創立九十周年記念行事が昨年行われました。同窓会の一人として参加しましたが、不完全燃焼の部分が残ります。

京浜支部総会が開かれるに当たり、招待を頂き他の同窓会役員の方と参加しました。

雨の中を西銀座の宝くじ売り場の前を通り、銀座ライオンに到着します。するとビルの入り口で同級生と十数年ぶりに出会います。挨拶もそこそこにエレベーターに乗ろうとすると同じ会の出席者らしい女性たちが階段を登り始めています。数年先輩とお見受けしました。彼女たちが元気よく階段を上がっていますから、エレベーターを横目に６階に向かいます。

和やかな会が始まり、総会の後には懇親会が続きます。正面の《石橋高校京浜支部総会》の立派な旗の写真を撮ってSNSにアップすると、同じ会場に以前からネットで簡単なやり取りをしている同窓生の山中一馬氏がいる事が判明しました。

彼の方から挨拶に来てくれます。初対面で改めて挨拶を交わしました。人気者の山中氏は周囲から人が集まって来ます。

名物とも言われる海老原茂氏が同じテーブルで元気よく話されています。90歳で今回の九十周年では90万円の寄付をしたから、次の百周年では百万円の寄付をすると張り切られています。ボージョレヌーボをご馳走するから、一緒に移動しようと誘われます。30人ほどで有楽町駅前電気ビルに移動します。

20階に《日本外国特派員協会》があります。話題になっているイスラム国で誘拐された後藤氏の母や時の話題の人がインタビューを受けるところです。カウンター席に着くと、山中氏の隣になりました。

彼が能楽をするきっかけや、家族の事等を互いに話しあっという間に時間が過ぎます。その後、私の同級生８人ほどとその電気ビルの地下の飲食街に移動、最終電車までミニ同窓会を楽しみます。京浜支部のエネルギー、石高の同窓会に感謝した一日になりました。

創立九十周年

校長　若田部　明

同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動に多大なる御支援・御協力を賜り誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。平成26年４月に小山高校から転勤して参りました若田部です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、11月14日に挙行されました創立九十周年記念式典には、同窓会役員の方々を始め、多くの方々に御出席いただき、ありがとうございました。天候にも恵まれ、盛大かつ厳粛な式典となりました。改めて厚く御礼申し上げます。創立記念事業実行委員会が設置されて三年、式典のみならず、講演会、「湧泉の碑」の建立、記念誌の発刊、教育活動基金への御協力など、物心両面での御支援をいただきました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

本校は、現在18学級、711名の生徒が在籍しております。出身地域では、宇都宮市の中学校から入学してくる生徒が約半数となりましたが、幸い多くの中学生から入学したい高校に選ばれ、高校入試は高倍率となっています。

教育活動においては学力の向上と部活動の振興に努めておりますが、大学進学においては、（平成26年３月の結果）国立合格者102名、公立合格者12名、合計114名の生徒（現役）が国公立大学に合格しています。私立大学には延べ453名（現役）が合格しています。

また、部活動においてはハンドボール部、放送部、吹奏楽部、弓道部、陸上部が団体あるいは個人で、全国大会や関東大会に出場しています。英語弁論大会（二位）、国際理解弁論大会（最優秀賞）と栃木県の大会で優秀な成績を得て、関東大会や全国大会に出場しております。

私たち教職員は、創立九十周年を一つの節目として、創立百周年に向け、本校をさらに大きな学校に成長させていこうと、生徒と一体となって努力して参ります。同窓会の皆様にも、これまでと変わらぬ御支援・御協力を賜りたくお願い申し上げます。

結びに、同窓会会員の皆様の御健勝と石橋高校同窓会の更なる発展とをお祈り申し上げ、挨拶といたします。

同窓会本部役員

平成26年８月に行われました同窓会本部役員会におきまして、創立九十周年を契機に10年間同窓会会長をお務めになった伊澤勝彦氏が退任され、上野法忍氏が新たに同窓会会長となることが信任されました。

それにともない、その他の職につきましても改選がありましたのでご報告いたします。

同窓会会長
上野法忍（高23回）

同窓会副会長
小林利孝（高11回）
梅山康之（高15回）
谷中恵子（高18回）
大手正憲（高22回）
柏木陽子（高23回）

同窓会副会長兼京浜支部長
新倉敦司（高12回）

同窓会副会長兼宇都宮支部長
郷間康久（高32回）

同窓会副会長兼県庁支部長
山中　晃（高25回）

同窓会副会長兼下野支部長
小林利孝（高11回）

同窓会副会長兼小山支部長
岸　一彦（高15回）

監　事
伊沢幸一（高15回）
山中　晃（高25回）
山崎早苗（高25回）

創立九十周年記念式典、厳粛かつ盛大に挙行される

【記念式典】

平成26年11月14日、石橋高校第一体育館を会場に栃木県立石橋中学校・高等学校の創立九十周年記念式典が挙行されました。

今回の記念式典は、生徒の教育活動のための事業となるよう努めること、地域との連携を踏まえ、同窓生・生徒・保護者・教職員が協力して事業に当たることなどの留意事項のもと計画されました。その一つとして形となったものが、式典における生徒の役割でした。

車両誘導・接待・受付・案内誘導・司会進行・表彰式介添えなど生徒が積極的に関わりました。

また式には、岡田豊子栃木県教育委員、同窓生の五月女裕久彦県議、五十嵐清県議や広瀬寿雄下野市長、並びに地元選出の若林和雄県議をはじめとして、多くの来賓の方々や百名以上の同窓生、保護者の御臨席をいただき、総勢九百名を越える参加者のもと、盛大に挙行されました。

開式の辞、校長式辞、実行委員長・PTA会長の挨拶、感謝状贈呈、来賓祝辞、生徒代表挨拶の後、旧校歌・現校歌が高らかに斉唱されました。

式の直後には、石橋高校放送部制作「石橋高校の一年」というスライドショーが上映され、生徒を始め同窓生も自分の高校時代に思いを馳せていました。

同窓生ばかりでなく、生徒の心にも響いた式典となりました。

【記念講演会】

午後に行われた記念講演会では、東京理科大学学長の藤嶋昭先生に『科学を楽しく　身のまわりの自然現象に感動しよう』の演題のもと、「偉人に学ぶ」「良い本を読む」「光触媒の現状」「光道管がおもしろい」「地球温暖化を防ごう」など、生徒の共感する内容でご講演をいただきました。

京浜支部だより

京浜支部役員　黒木　敦子

母校では創立九十周年記念式典も終了し、百周年に向けて一層の躍進をされる事と存じ上げます。

私ども京浜支部も生徒の皆様の御活躍を喜ばしく誇りに思っております。

この度同窓会だよりにとお話を頂き、何かと考えましたが、京浜支部の現状を書かせて頂こうと思います。

顧問二名、役員八名で毎年十一月の第三土曜日、銀座ライオンにて開催致しております。

歴史あるこの会も昨年五十三回を終えました。今の役員は四十一回からですので、十二年が経ちました。

故郷を離れ、京浜地区で御活躍される諸先輩、後輩の方々が年に一度、同窓生と集い、ゲストの妙技に浸り、又、学生時代の懐かしい日々を語る笑顔に、役員一同来年も新たな企画で頑張らなくてはと、しみじみと思います。

さてゲストですが、同窓生にお願いする事が多く、今迄に、ピアノ、ヴァイオリン、ジャズ、津軽三味線等の演奏と多彩です。出演頂いた方全員は紹介はできませんが、私も四十三回にコーラス女声合唱団〝サファイア〟で歌わせて頂き良い思い出です。

プロの落語家春風亭小柳枝さんの古典落語や東京ガールズさんの歌と笑いなどと、ギャラは度外視して御出演頂きました。（会員のご紹介で）

毎年、七、八百枚お便りを出させて頂き、私の担当は四百枚位でしょうか。皆様との少しのコメントで、一年間どの様にお過ごしになられたかを知り安堵したりと、絆を深めております。そして、感じますのは大先輩方の母校を思い遣る強さです。

二年前より湧泉の絆基金を始めました。私どももこれから巣立つ生徒諸君の少しでもお役に立てれば幸いでございます。

最後に、京浜に限らず広く石橋高校の出身の方々が、御参集頂ける支部になりますよう、これからも努力する所存ですので、宜しくお願い致します。

「湧泉の絆 基金」

「湧泉の絆 基金」につきましては、旧制石橋中学校第14回卒同級会

会　長　海老原　茂氏
副会長　秋元　武夫氏
副会長　飯塚　博氏

が中心となって提案された「湧泉の絆システム」が契機となっております。海老原氏は京浜支部の顧問もなさっています。そのシステム設立の趣旨は、石橋高校九十年誌にもご寄稿いただきましたが、現役生徒の更なる研鑽と飛躍に資する石橋高校教育活動基金への醵出となっております。その記念誌の中で、

子育ての終わった同窓の皆様が、その学級ごとに、上記「湧泉の絆システム」と同様のシステムを立ち上げて頂ければ、私達のよろこび、これに過ぐるものはありません。

と述べられ、同窓生への広がりをも期待されています。

旧制石橋中学校第14回卒業の方々は中学時代に、太平洋戦争を経験され、中学時代に零戦操縦士に志願された方や、軍人としてシベリアに抑留された方もいらっしゃるということです。その時代や学校に対する思いは一入と拝察されます。

今回の九十周年記念事業における募金でも、旧制石橋中学校第14回卒業の皆様からは、総額90万円にも及ぶご寄付をいただきました。この金額は、九十周年記念事業への募金であることと、皆様方が90歳をお迎えになることとに因んだことだそうです。

また、今回の記念事業に対しまして、他の多くの同窓生の皆様からも多大なるご寄付をいただきました。記念事業の一環である「教育活動基金」も目標額以上の金額となりました。生徒の教育活動に役立たせていただきます。誠にありがとうございました。

同窓会事務局といたしましても、基金の整備並びに広報活動に、今後も努めて参ります。「湧泉の絆 基金」につきましては、次の口座を開設いたしました。

足利銀行　石橋支店
栃木県立石橋高等学校
同窓会会長上野法忍
（トチギケンリツイシバシコウトウガッコウドウソウカイカイチョウウエノホウニン）
普通　５０２８１４８

なお、ご意見ご質問につきましては、同窓会事務局までご連絡下さい。

石橋高校の卒業生が頑張ってます

県庁支部長　山中　晃

栃木県庁に在籍する石橋高校卒業生（教員や警察の職員を除く）は、現在130名ほどおります。県庁石高会として、総会・懇親会を中心にささやかな活動を行っているところでございます。

県庁内の石高ＯＢ職員は、派手さや積極性は少ない感じがいたしますが、非常に堅実で、物事をとことん突き詰め、県民の皆様にとってより適切な対応等を行っております。加えて非常にバランス感覚の優れた、安心感のある職員が多く、困難な仕事等でも、不満も言わず、前向きに対応してくれております。

県庁全体から見ると卒業生の数はそれほど多くはありませんが、主要なポジションで活躍しており、内外からの信頼等も厚いと思います。

どこでもそうかもしれませんが、何かを行うときには、やはりきちんとしたバックボーンや考え方等が必要でありますが、石高卒の県職員は、それを身に付けている。何らかの形できちんと持っている。校訓ある「爾の立てるところを深く掘れ」の精神が心に刻まれているのだろうと思っております。従って、いざという時は非常に強い結束力があります。東日本大震災の折にも、ＯＢ職員が対応等に走り回っておりました。

今の時代、「哲学がない。」あるいは、「気持ちや考え方がふらふらしている。流されやすい。」そんな印象がありますが、高校生の多感な時代にバランスの取れた学校で、哲学を（無意識の内にも）心に刻むことは非常に意義深いのではないかと思っております。

最後に、石橋高校の今後ますますの御活躍を御期待申し上げます。また、特に生徒の皆様には、失敗をおそれず石高精神で積極的に頑張ってください。挑戦してください。エールをお送りいたします。

小山支部総会から

小山支部事務局長　清水　明

石橋高等学校同窓会小山支部は、小山市在住の卒業生から構成されています。毎年、総会・新年会・役員会を開催し、この地域の同窓生相互の親睦を深めています。今回は平成26年に開催されました小山支部総会についてご報告します。

平成26年石橋高等学校同窓会小山支部総会は、6月8日に小山グランドホテルを会場に開催されました。同窓会本部からは伊澤勝彦同窓会会長（当時）、学校からは若田部明校長先生をはじめ4名の先生方に御出席いただきました。

会は午後5時に開会され、町田昭三支部長（当時）の挨拶に続き、伊澤同窓会会長・若田部校長・支部会員でもある五十嵐清県議会議員から、それぞれ祝辞をいただきました。その後、平成25年度事業報告・決算、平成26年度事業計画・予算、役員改選などの議事が滞りなく終了し、懇親会が行われました。

世代ごとに分かれたテーブルでは、仕事・子供・孫の話や近況報告等、おもしろおかしく話し合い、和やかな雰囲気でした。また、青春時代でもある在校時の種々の話などが話題に盛り上り、皆がそれぞれの高校時代に思いを馳せていました。

今回、会を盛り上げてくれたものに石橋高校ＯＢによる五重奏があります。演奏いただいた方は、高下三喜夫氏他四名の方で、最初に校歌を演奏し、その後懐かしい曲を奏でると、同窓生からは盛大な拍手があり大いに場が盛り上がり、楽しい一時を過ごすことができました。

結びにあたり、石橋高校の益々の発展、並びに在校生・卒業生のご健康とご多幸を祈念すると同時に、今後小山支部はより広報活動を行い、より広い世代の卒業生に参加してもらえるよう努めてまいります。

平成二十六年度同窓会関係行事

平成二十六年

4月7日（月）
入学式

6月8日（土）
小山支部総会
於　小山グランドホテル

8月23日（土）
役員会及び総会
高26回卒業生ホームカミングデー
於　本校図書館

11月5日（水）
校内マラソン大会

11月14日（金）
創立90周年記念式典及び記念講演会

11月29日（土）
京浜支部総会
於　銀座ライオン

平成二十七年

2月13日（金）
県庁支部総会
於　ニューみくら

2月27日（金）
同窓会入会式

3月2日（月）
卒業式

同期会通信

石高九回卒同級会

高校第９回卒　黒須　英雄

６月３日小山市須賀神社会館で、60名の参加者を得て開催することが出来ました。

遠くは鹿児島県の喜界島から、飛行機を乗り継いで毎回参加する友もいます。

会えば、顔を見れば、昔の名を言えば、皆「高校三年生」

○伊澤勝彦同窓会会長より「母校の現況について」の話

・創立九十周年記念式典が11月14日にある。

・文武両道の伝統を引き継ぎ、後輩は奮闘している。

・県内トップクラスの進学校で人気校でもある。

嬉しくも頼もしい限りである。

○乾杯！音頭は、東京地区で活躍している山田英雄氏

○歓談（テーブル毎に）

・自己紹介や近況報告等

・スピーチ代表の選出

○テーブル代表のスピーチ

・長年アメリカで会社の営業の仕事をしてきた。各民族性の違いに戸惑うことが多かった。

・バラの栽培が趣味で、小山地区バラの会で活躍している。バラに囲まれた生活に満足している。

・幼稚園を経営している。子育て支援に生き甲斐を感じている。

○余興

・ビンゴゲーム

若々しい声で「ビンゴ！」

・カラオケ

別れの一本杉　リンゴ村から

好きだった　学園広場

○校歌斉唱

二荒のいただき　残雪かすみ校庭明るく　桜咲けり

甲子園球場で歌いたかった。

次回の喜寿祝しての会は「湧泉の碑」の前に集合して……。

第24回石高卒業生同級会

高校第24回卒　稲川　洋

第24回石高卒業生同級会を平成26年３月８日に小山市パレスホテルにて開催しました。

名目は還暦を迎えた同級生たちの第２の人生応援というものです。

当日は恩師の先生方６名と70名を超える仲間が集い、クラスの枠を超えて、卒業以来42年の旧交を温めました。

当日はセレモニーや進行に不手際が生じまして参加者の皆さんにはご迷惑をかけましたが、午後１時の開始から午後６時までの賑わいとなりました。

参加者が多いため、自己紹介の時間がオーバーしてしまいましたが、参加者たちはそれぞれのテーブルに混じって、電話番号やメアド交換を熱心にしていました。

参加者の中には実に42年ぶりに会う人もいて、名前を聞くたびに高校当時の懐かしい思い出が鮮やかによみがえってきました。

石高の校庭や屋上から眺めた連山は、今も同じ時期に真白く輝いています。

満ち足りた人生を送ってきた仲間も、そうでなかった仲間も、石高時代の気持ちを今一度思い出して、第２の人生に踏み出して欲しいと思います。

数年後の再会を誓って、有意義な時間を過ごし、散会しました。

ホームカミングデー

高校第26回卒　小林　保夫

石橋高校創立九十周年を迎える今年の八月二十三日に、第二十六回（昭和四十九年卒）の卒業生によるホームカミングデーが、参加者二十六名で実施されました。この催しは、昨年より創立記念行事を盛り上げることを目的として実施されました。

私は高校卒業後の大学進学で、数年間のみこの地を離れることはありましたが、ほとんどを下野市（石橋町）にて生活しております。しかしながら、石橋高校の同級生の顔を見ることは、同じ地域に住んでいる者に限定されていました。今回の再会では、各自の顔を見るなり、名前は勿論のこと、所属していたクラスまで思い出すことができ、互いの近況を報告しあいました。四十年前の高校時代に戻ったような状態で、これが、同級生・同窓生としての絆だと感じました。また、校庭や体育館を見学したときには、部活動に励んでいた当時のことを懐かしむことができました。東門を入った正面には、創立九十周年を記念して建立された「湧泉の碑」があり、校訓が刻まれた本校の新しいシンボルとなっておりました。校舎内では、教育環境の充実に驚かされ、後輩達が思う存分自分の目標達成に取り組めるだろうと思いました。また、多くの同級生と会う機会を持てたことは、非常にうれしいことでありましたが、それ以上に、先輩の同窓生と話す中で、母校を誇りに思い、後輩達の活躍を願う姿を身近に接することができたことも、非常に良かったことの一つでした。

最後に、今後の石橋高校と同窓会のさらなる発展を御祈念いたします。

過去３年間の大学合格状況　その１

[国公立大学]（　）内は過年度卒の内数

大学＼年度入試	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	受験数	合格数	受験数	合格数	受験数	合格数
帯広畜産			1			
北見工業					3	3
室蘭工業	1	1			2	1
北海道	1	1(1)	2		4	3
北海道教育	3		2	1		
弘前	3	2(1)	3		3	3
岩手			4	2	3	1
宮城教育	1	1(1)			1	
東北	12	8(1)	5	2	10	4(1)
秋田	12		8	3	6	3
山形	14	7	13	6	14	6
福島	4	2	6	2	9	4
筑波	8	3	8		10	5
茨城	18	6	12	7	11	6
宇都宮	39	24(2)	36	17(3)	36	20(1)
群馬	9	3	10	2(1)	5	5
埼玉	20	11(1)	21	16(1)	18	9
千葉	5	3(1)	4	2(1)	12	3
電気通信	8	3			10	7(1)
お茶の水女子			1			
東京					1	
東京芸術					1	1
東京外国語			1	1		
東京工業	1					
東京学芸	5	1	3	1	4	3(1)
東京海洋			2	1	2	
東京農工	3	1	3	1(1)	8	4(2)
一橋			1			
横浜国立	3	3			2	2(1)
上越教育	3	1	3	3(1)	2	2
新潟	17	8(1)	13	6	9	5(1)
富山			7	5	4	
金沢	2	2	1	1	3	1
福井					1	1(1)
山梨	5	4	3			
信州	9	1	8	4	6	3
岐阜	2		1	1		
静岡	4	1	7	4	7	4(1)
名古屋工業	4	2			4	
名古屋			1			
京都					1	
大阪	1				2	
神戸			1	1		
奈良教育	1				1	1
広島					1	
山口			1			
徳島	1				1	1(1)
高知			1	1		
佐賀			1	1		
宮崎					2	2
琉球	1	1				
（国立計）	220	100(9)	194	91(8)	219	113(11)
釧路公立	1	1			1	
公立はこだて未来			1	1		
青森公立	2	1			3	
岩手県立	1	1	1			
宮城	2	1			4	1
秋田県立	4		5	1	2	2(1)
国際教養	4		4		3	
山形県立米沢栄養					1	1
会津	1	1	4	2	1	1
福島県立医科			3			
茨城県立医療	3	1	2			
群馬県立女子	5	2	3	1		
群馬県立県民健康科学	1	1				
高崎経済	13	7	15	3	5	4(1)

[国公立大学]（　）内は過年度卒の内数

大学＼年度入試	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	受験数	合格数	受験数	合格数	受験数	合格数
前橋工科	5	1	4	2		
埼玉県立	2		3	2	3	1
千葉県立保健医療			1		2	
首都大学東京	10	4(1)	8	6	5	
横浜市立	2	1(1)	5	3	1	1(1)
神奈川県立保健福祉			1	1		
新潟県立	1				3	1
福井県立	1		1	1		
都留文科	11	7	4	1	4	1
山梨県立	1					
長野県看護	1	1				
静岡県立			1		1	1
静岡文化芸術			2			
名古屋市立	2	2			1	
愛知県立	2	2				
三重県立看護	1					
滋賀県立					1	1
京都府立			1			
大阪市立					1	
大阪府立	1					
神戸市外国語			1			
長崎県立			1	1		
（公立計）	77	34(2)	71	25	42	15(3)
防衛	1	1	1	1	2	1
準大学計	1	1	1	1	2	1
（国公立準計）	298	135(11)	266	117(8)	263	129(14)

[私立大学]（　）内は過年度卒の内数

大学＼年度入試	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	受験数	合格数	受験数	合格数	受験数	合格数
北海道医療			1	1		
酪農学園	3					
石巻専修			1	1		
東北福祉			1	1		
東北薬科					5	2
東北芸術工科	1	1	1	1		
つくば国際	1	1	1	1		
茨城キリスト教	2	2				
流通経済					1	1
足利工業			1	1	2	2
国際医療福祉	17	11	37	20(2)	23	14(3)
自治医科	6	4	3	1	5	4
獨協医科	5	4	2	2	7	2
白鷗	13	12	33	32(1)	17	16
文星芸術			1			
桐生	2					
高崎健康福祉			2		2	2
群馬医療福祉			2	2		
東京福祉	1	1			1	1
創造学園			1			
跡見学園女子	1	1			3	1
埼玉医科	1				2	1
埼玉工業	4	2	3	3	3	3(1)
城西	2	2	4	4(1)	1	1
女子栄養	5	2	7	5	1	1
東京国際					1	1
獨協	17	13	14	11(4)	15	7
日本工業			1	1	3	3(2)
文教	32	6	28	9(1)	24	12
文京学院			2	1	2	1
目白	4	2			5	5
西武文理	1	1				
日本薬科			2	2		
日本医療科学	2					
日本保健医療			1			
江戸川	1	1				

過去３年間の大学合格状況　その2

［私立大学］(　)内は過年度卒の内数

大学＼年度入試	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	受験数	合格数	受験数	合格数	受験数	合格数
神田外語			1			
国際武道	1					
秀明	1	1	1		1	1
千葉工業	3	1	13	10	13	6
城西国際			1	1		
聖徳			2	2	4	2
千葉科学			1	1	3	3
青山学院	13	7(3)	27	7(1)	19	8(1)
亜細亜	3	3	3	3		
大妻女子	4	3	7	3	4	2
桜美林	1	1				
学習院	4	1(1)	11	5(2)	13	1(1)
学習院女子			1			
北里	13	4(2)	9	2	19	7(1)
共立女子	2	2	6	4	5	2
杏林	4	2	6	2	6	5(1)
慶應	1	1	2		5	2
工学院	4	3	10	4(1)	8	3
國學院	9	6	3		1	
国際基督教			3	1	1	1
国士舘	7	2	2	1	3	3
駒澤	22	12	10	3(1)	8	7
駒澤女子	2	2	1	1	1	1
産業能率					1	1
実践女子	2	2	4	1		
芝浦工業	82	37(3)	68	21(4)	83	30(4)
順天堂	2	1			6	
上智	8	4(1)	4	2(1)		
昭和			2		4	2
昭和女子	11	5	8	4	18	7
昭和薬科			3	1	3	1(1)
白百合女子	4	1				
成蹊	19	13(2)	21	11(2)	19	7
成城	7	6	5	4	10	4(1)
清泉女子					1	1
専修	16	10(1)	22	16(1)	16	11(1)
創価					4	4
大正			3	2(1)	1	
大東文化	10	6(1)	3	3(2)	2	2(1)
拓殖	3	3				
玉川	8	4	9	2	9	4(2)
多摩美術	2		1			
中央	31	15(3)	49	14(1)	27	9(1)
津田塾			4	2(1)	4	3
帝京	14	13(1)	18	13(2)	14	9(1)
帝京平成	2	2	1	1	1	
帝京科学					1	1
東海	18	15	12	8(1)	29	10
東京医療保健			1	1		
東京家政	8	4	14	8	9	3
東京家政学院	1	1	1	1		
東京経済	5	4	7	6(1)	3	3
東京工科	2	2	1	1	5	4(1)
東京工芸	2	2				
東京歯科			1			
東京慈恵会医科					1	1
東京女子	5	3	9	4	2	1
東京聖栄	2	2				
東京電機	19	11	36	16(5)	57	24(2)
東京農業	15	5	17	4	31	15(5)
東京未来					1	1
東京薬科			1		4	
東京理科	39	17(3)	32	7	42	16(6)
東邦	1	1	6	4	3	3(1)
東洋	50	31(3)	71	40(2)	52	37(3)
二松学舎	10	4	1		1	
日本	63	41(6)	69	31(2)	85	44(5)

［私立大学］(　)内は過年度卒の内数

大学＼年度入試	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	受験数	合格数	受験数	合格数	受験数	合格数
日本歯科			1	1		
日本獣医生命科学	3				4	1
日本女子	12	7	10	3	6	2
法政	53	23(3)	53	17(2)	61	27(4)
星薬科	1				7	2(1)
武蔵	8	3	6		3	2(1)
東京都市	10	8	26	7	15	5
武蔵野	11	8(1)	15	3	13	6(1)
武蔵野音楽	1	1				
武蔵野美術	4		2	2(2)	1	1(1)
明治	34	14(3)	43	10(2)	38	10(6)
明治学院	13	4	20	10	14	9(1)
明治薬科	1		2		6	1(1)
明星	2	1	4	2	4	3
ヤマザキ学園			1	1		
立教	20	12(4)	25	9(3)	22	9
立正	7	4	2		6	3
和光			1			
早稲田	17	4(3)	13	2	24	5(2)
麻布	4	2(1)			3	2
神奈川	5	4	15	10	8	6
神奈川工科	2	2	3	3	3	2
鎌倉女子			1		3	2
関東学院	1	1	1	1	1	1
相模女子			1			
洗足学園音楽			1	1		
東洋英和女学			1	1		
女子美術	1	1	1	1(1)		
フェリス女子			2	2		
横浜薬科					1	1(1)
新潟医療福祉	1	1	2	1	1	
金沢工業	3	3	1	1(1)		
常葉学園	1	1	1	1		
愛知	2	2			2	2
愛知工業					1	1
金城学院	2	2	1	1		
豊田工業					1	
中京					7	4
名古屋学院	2	2			1	1
南山	1	1			3	3
藤田保健衛生					1	1(1)
名城					2	
京都産業					2	2
同志社	3	1(1)	2			
佛教			2			
立命館	7	1	3	1	9	3
龍谷					2	2
関西					4	3
関西学院	1	1			6	
近畿					6	3
姫路独協			1	1		
奈良					2	1
岡山理科	1	1				
川崎医療福祉			2			
広島国際			3	3		
福山					2	
九州保健福祉			1	1		
（私立計）	910	497(13)	1042	473(46)	1081	518(65)
総計	1208	632	1308	590	1344	647

主な合格短期大学（過去３年間・現役）
（国公立）長野県大短大
（私　立）國學院大學栃木短・青山学院女短・女子栄養短・女子美術短
東京家政大短・東京農大短大部・桐朋学園芸術短・相模女子大短

主な専門学校（過去３年間・現役）
栃木衛生福祉大学校・宇都宮メディアアーツ・栃木病院附看護・関東職能大学校
東京アナウンス学院・日本工学院専・辻製菓専・日産愛知自動車大学校
関東工業自動車専・東京動物専